

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 令和元年度実績

①削減と節減の取組 (31項目)

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容	取組内容と効果額(千円)									
				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
行財政健全化戦略 3-1. 重点的・戦略的な行財政運営を実現する予算編成の実施					20,000		1,800		40,642		69,350		23,266
計画的な財政運営による健全な行財政基盤の確立	S1	財政課	執行残と流用の厳格化	①契約金額確定に伴う予算額残の凍結 ②緊急性以外の流用不可 ③一定の時期の需用費凍結 ④一定額(百万円)以上の執行残の減額補正	平成27年補正第3号、減額補正の実施	平成28年補正第4号、減額補正の実施	平成29年補正第9号・第11号、減額補正の実施	平成30年補正第11号・第12号、減額補正の実施	令和元年補正第8号・第10号、減額補正の実施				
					効果額〔実績〕	20,000	効果額〔実績〕	1,800	効果額〔実績〕	10,071	効果額〔実績〕	69,350	効果額〔実績〕
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S2	情報政策課	賃貸借料、委託料の節減	基幹系システムの運用経費の節減			保守期限1年延長による新規リース料の節減						
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	30,571	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕
行財政健全化戦略 3-3. 適正な経費支出への取り組み					207,034		364,567		372,932		198,317		112,754
扶助費の削減	S3	福祉総務課	医療扶助費の削減	ジェネリック医薬品の普及促進による医療扶助費の支出削減	ジェネリック医薬品の推奨、ケースワーカーや医療相談指導員による直接指導	ジェネリック医薬品の推奨、ケースワーカーや医療相談指導員による直接指導	ジェネリック医薬品の推奨、ケースワーカーや医療相談指導員による直接指導	ジェネリック医薬品の推奨、ケースワーカーや医療相談指導員による直接指導、法改正により平成30年10月からジェネリック医薬品使用が義務化	→				
					効果額〔実績〕	1,500	効果額〔実績〕	8,100	効果額〔実績〕	8,561	効果額〔実績〕	33,079	効果額〔実績〕
補助金の精査	S4	地域連携支援課	補助制度運用の見直し	まちづくりに頑張る団体等に対する補助金制度の運用見直し	要綱改正(複数年度事業の廃止、同一事業の回数制限及び補助上限額の減額、備品購入費の上限設定)	補助制度の再構築(補助対象を地域課題等に沿った事業に転換することで、予算額見直し)	→	→	補助制度の再構築(団体の自立性を促すため、補助率を10/10から7/10へ見直し、同一団体への補助を3回までに変更)				
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	145	効果額〔実績〕	1,711	効果額〔実績〕	1,860	効果額〔実績〕
補助金の精査	S5	地域連携支援課	補助制度運用の見直し	集会所修繕等補助金の対象件数の見直し		今後の修繕見込みの検討(区長会との協議)	助成対象件数の縮小	→	→				
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	204	効果額〔実績〕	703	効果額〔実績〕	502	効果額〔実績〕
補助金の精査	S6	高齢介護課	助成内容の見直し	はり・灸・マッサージ施術の助成回数及び助成額の見直し	高齢者福祉計画策定委員会において検討	高齢者福祉計画策定委員会において検討。次期計画策定のためのアンケートを実施した。	→	廃止	→				
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	149	効果額〔実績〕
補助金の精査	S7	高齢介護課	助成内容の見直し	長寿祝金の対象者及び祝金額の見直し	高齢者福祉計画策定委員会において検討	高齢者福祉計画策定委員会において検討。次期計画策定のためのアンケートを実施した。	→	給付額の削減	→				
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	19,640	効果額〔実績〕
補助金の精査	S8	高齢介護課	助成内容の見直し	金婚祝賀人間ドック一部助成負担額の見直し	高齢者福祉計画策定委員会において検討	高齢者福祉計画策定委員会において検討。次期計画策定のためのアンケートを実施した。	→	廃止	→				
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕
補助金の精査	S9	産業振興課	実施内容の見直し	柏原市地域担い手育成総合支援協議会補助金の見直し		補助金の削減を検討	削減	→	→				
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	50	効果額〔実績〕	50	効果額〔実績〕



柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 令和元年度実績

①削減と節減の取組 (31項目)

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容		取組内容と効果額(千円)									
					平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S19	環境対策課	実施体制の見直し	環境マネジメントシステムの定着に伴う全庁的取組から各課主体的な取組への実施体制の見直し	全庁的取組の終了(外部審査員の審査終了)		研修費のみ ※次年度廃止に向けた検討		廃止		→		→	
					効果額〔実績〕	286	効果額〔実績〕	256	効果額〔実績〕	286	効果額〔実績〕	286	効果額〔実績〕	286
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S20	産業振興課	事業効果による見直し	コットンファームプロジェクトの見直し	4年間のプロジェクトの効果検証		予算額200千円に見直して実施事業の効果検証を実施し、次年度の補助金の廃止決定		補助金の廃止 遊休農地とならないよう民間事業者へ引き継ぎ		→		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	729	効果額〔実績〕	929	効果額〔実績〕	929	効果額〔実績〕	929
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S21	社会教育課	補助事業の見直し	市民文化会館市民劇場委員会事業の指定管理者業務化	市民劇場委員会及び指定管理者と継続して協議中		市民劇場委員会及び指定管理者と継続して協議中		市民劇場委員会の廃止 指定管理者と継続して協議中		平成29年度をもって委員会は解散。補助金2,500千円は指定管理料2,300千円とし、指定管理者の自主事業で2事業を開催。		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	200	効果額〔実績〕	200
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S22	財政課	基準外繰入金の見直し	市立柏原病院への基準外繰入金の見直し	基準外繰入金(赤字補てん)の廃止を目標としていたが、縮小は図れた。		基準外繰入金(赤字補てん)の廃止		→		基準外繰入金(赤字補てん)の廃止を目標としていたが、縮小は図れた。		基準外繰入金(赤字補てん)の廃止を目標としていたが、縮小は図れた。	
					効果額〔実績〕	200,000	効果額〔実績〕	350,000	効果額〔実績〕	350,000	効果額〔実績〕	130,000	効果額〔実績〕	30,000
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S23	秘書広報課	市長交際費の抑制	支出基準の見直し			市長交際費から職員慶弔費の支出基準の見直し		→		→		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	50	効果額〔実績〕	50	効果額〔実績〕	50	効果額〔実績〕	50
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S24	契約検査課	民間委託の実施	業者登録業務の委託化による経費削減			入力参加資格申請データ入力業務の委託化(隔年業務)		→		→		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	143	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	327	効果額〔実績〕	—
行財政健全化戦略 3-4. 適正な事業規模への取り組み					1,116	3,414	4,810	3,244	3,244					
現在の需要状況や今後の需要見込みを観点とした精査	S25	環境対策課	申請状況による見直し	太陽光発電システム設置補助事業の廃止検討	補助単価の減額 受付件数上限の見直し		廃止		→		→		→	
					効果額〔実績〕	1,116	効果額〔実績〕	1,176	効果額〔実績〕	1,176	効果額〔実績〕	1,176	効果額〔実績〕	1,176
現在の需要状況や今後の需要見込みを観点とした精査	S26	環境対策課	利用状況による見直し	JR高井田駅前公衆トイレの廃止検討	利用状況を平日・休日の終日(4:30~0:50)調査、施設状況から安全性、快適性、防犯性を総合的に判断し、廃止に向けた検討		H28年9月末で閉鎖(除却はしていない)		維持管理費の削減		改修し、使用開始		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	170	効果額〔実績〕	1,566	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—
現在の需要状況や今後の需要見込みを観点とした精査	S27	高齢介護課	利用状況による見直し	寝具乾燥事業の廃止検討	高齢者福祉計画策定委員会において検討		廃止		→		→		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	81	効果額〔実績〕	81	効果額〔実績〕	81	効果額〔実績〕	81
現在の需要状況や今後の需要見込みを観点とした精査	S28	こども政策課	保育所運営方法の見直し	多様化する市民ニーズに対応できる保育行政の実施	法善寺保育所民営化に向けた準備(市・民間業者・保護者による三者協議会、合同保育の実施)		法善寺保育所民営化(引継保育の実施)		→		→		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	1,987	効果額〔実績〕	1,987	効果額〔実績〕	1,987	効果額〔実績〕	1,987

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 令和元年度実績

①削減と節減の取組 (31項目)

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容	取組内容と効果額(千円)									
				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
行財政健全化戦略 3-5. 政策・施策を戦略的に展開できる組織体制の整備					-87,664		107,698		136,858		54,861		55,592
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	S29	人事課	定員適正化計画の推進 計画的な定員管理(H27当初再任用含職員数487名から5年間で12名を削減、H31当初職員数475名とする。(病院を除く)	(職) 計482名 (再) 計7名		(職) 計467名 (H27から15名減) (再) 計13名 (H27から6名増)		(職) 計455名 (H27から25名減) (再) 計26名 (H27から19名増)		(職) 計445名 (H27から37名減) (再) 計22名 (H27から15名増)		(職) 計459名 (H27から23名減) (再) 計18名 (H27から11名増)	
				効果額は取組項目S30番に一括計上									
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	S30	人事課	給与制度・運用・水準の見直し 国の給与構造改革に準じた給与水準と制度及び運用の見直し	人事院勧告に基づく給与を導入		→		→		→		→	
				効果額〔実績〕	-87,664	効果額〔実績〕	-2,302	効果額〔実績〕	26,858	効果額〔実績〕	54,861	効果額〔実績〕	35,769
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	S31	人事課	給与制度・運用・水準の見直し 第2期行財政健全化戦略の取組状況により、目標達成の補填として人件費を抑制			給与カット		→		→		→	
				効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	110,000	効果額〔実績〕	110,000	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	19,823
<b>削減と節減の取組</b>				<b>140,486</b>		<b>477,479</b>		<b>555,242</b>		<b>325,772</b>		<b>194,856</b>	